令和2年度(2020年度)

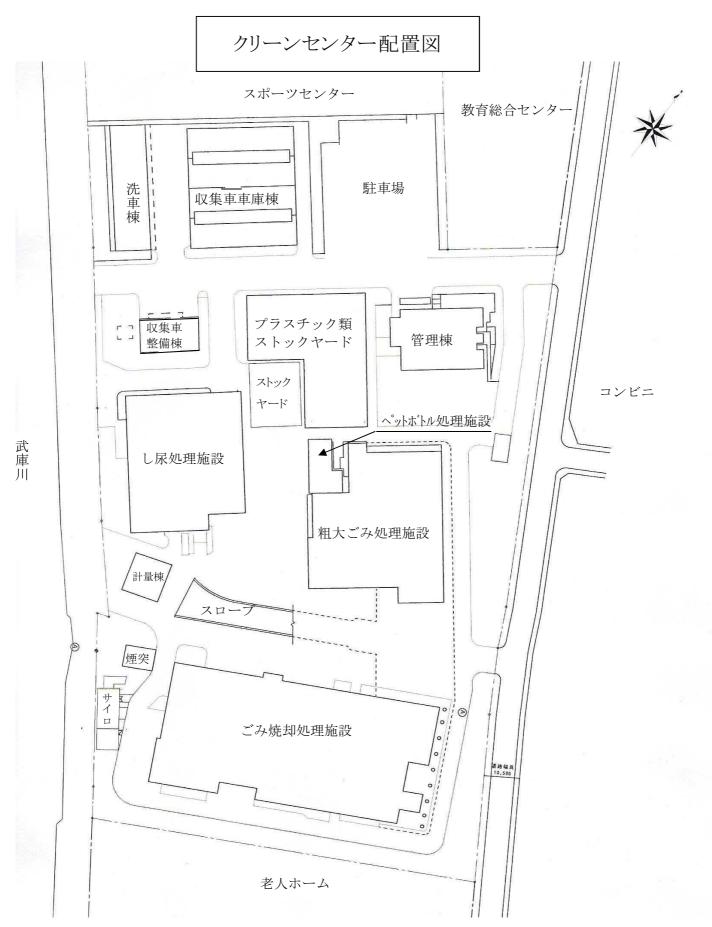
宝塚市清掃事業概要

~ごみと資源 分けて広がる エコ社会~

目 次

	清掃施設の所在地	1
	クリーンセンター配置図	2
I	あらまし	
	1 市の沿革	3
	2 位置と地勢	
	3 人口の推移	
	4 ごみ処理事業の沿革	4
	5 クリーンセンター組織図	
		5
	7 クリーンセンターの変遷	6
II	財政	_
		9
		10
		11
		12
	5 ごみ処理原価の推移	
	6 し尿処理原価の推移	
	7 令和元年度ごみ収集・処理費の内訳	13
Ш	施設・設備・機材	
ш		14
	2 車両	14
		15
	3 烃哇ル政	Ιi
IV	ごみ処理事業	
		23
	2 ごみ総量及び処理状況	24
	3 ごみ受入状況	25
		26
	5 動物の死体等の受入状況	
	6 令和元年度回収有価物売却額	
V	ごみの減量化・資源化推進事業······	27
VI	し尿処理事業	
		28
	2 し尿収集及び処理状況	





I あらまし

1 市の沿革

宝塚は、古来、農業地そして植木産業の地として繁栄してきたが、明治19年に武庫川河岸に温泉が開削され、翌20年には宝塚温泉が開業された。その後、大阪と宝塚を結ぶ交通機関の発達と宝塚遊園地・少女歌劇などが創設されたことにより、「歌劇と温泉のまち」として広く知られるようになった。昭和29年4月1日、武庫川を挟んでいた良元村と宝塚町が合併して、宝塚市が誕生。翌30年には長尾村、西谷村を合併して現在の宝塚市域が形成された。その後、住宅地として発展したことによ

長尾村、西谷村を合併して現在の宝塚市域が形成された。その後、住宅地として発展したことにより、高度経済成長期に人口が急増。市制施行当時約4万人であった人口が、近年は22万人台を超え、現在も維持し続けているものの平成26年度より減少に転じている。

2 位置と地勢

宝塚市は、兵庫県南東部に位置し、東に川西市、北には猪名川町、三田市、西宮市北部に、東南は伊丹市に、南は西宮市に接している。また、市域は南北に細長く、住宅地が広がる南部市街地と豊かな自然が残る北部農村地域に分かれている。

位置 東経135°21′39″北緯34°48′00″

面積 101.89K㎡

広がり 東西12.8Km 南北21.1Km

海抜 最高571.4m 最低19.1m

3 人口の推移

※各年度4月1日現在推計人口

	人口			世帯数			人口		世帯数
年度	総数(人)	男 (人)	女(人)	(世帯)	年度	総数(人)	男 (人)	女(人)	(世帯)
H18	219,758	103,315	116,443	85,864	H25	228,051	106,210	121,841	93,545
H19	220,702	103,568	117,134	86,869	H26	227,824	106,085	121,739	93,608
H20	222,198	104,105	118,093	88,371	H27	227,349	105,746	121,603	93,860
H21	223,464	104,622	118,842	89,823	H28	224,579	103,876	120,703	94,391
H22	225,008	105,271	119,737	91,109	H29	225,010	103,951	121,059	95,395
H23	225,911	105,346	120,565	92,213	H30	224,997	103,820	121,177	96,233
H24	227,320	105,966	121,354	93,414	R1	224,728	103,600	121,128	96,737

[※] 社会増減の見直しにより、平成18年以降の人口および世帯数を訂正。

4 ごみ処理事業の沿革

家庭系ごみの定期収集は、昭和37年の宝塚市清掃条例の施行と同時に週1回希望世帯でスタートし、ポリバケツの使用による排出及びステーション方式の導入など改善を重ねながら、昭和44年には「可燃ごみ」及び「不燃ごみ」での2分別収集を実施すると同時に、「可燃ごみ」は週3回、「不燃ごみ」は週1回の収集とした。 その後、昭和52年に「資源ごみ」を加えて3分別収集とし、ごみの減量化、資源の有効利用の取り組みを始めた。

昭和45年に建設した焼却炉の老朽化に伴い、ごみ焼却施設の建て替え整備に着手し、昭和63年に現焼却炉を稼働させ、これまで「不燃ごみ」として扱っていた廃プラスチック類の焼却処理が可能となったことから、昭和63年からは再び分別内容の見直しを図り、「可燃ごみ」と「資源ごみ」の2分別で収集を実施した。その後、平成7年からは、6種9分別収集を開始し、週3回の可燃ごみのほか、「かん・びん」、「紙・布」「その他不燃ごみ」をそれぞれ月2回収集とし、より一層のごみ減量化・資源化を図った。

また、粗大ごみは、昭和56年から自治会単位による申込みに基づく地域一括収集制度(有料)を発足させて収集の効率化を図ったが、昭和63年から年2回の定期収集化に加え、一部手数料を免除するなど制度の充実を図った。平成2年には、粗大ごみ処理施設の完成により、同年4月から年3回の定期無料収集に改めて、ごみの減量化を目指した。さらに平成13年度には、家庭系の粗大ごみを予約申込みによる有料の戸別収集とした。

平成11年度から、ペットボトルの分別収集により7種10分別収集を行ってきたが、平成13年度からの粗大ごみの戸別収集に伴い、7種9分別収集とした。

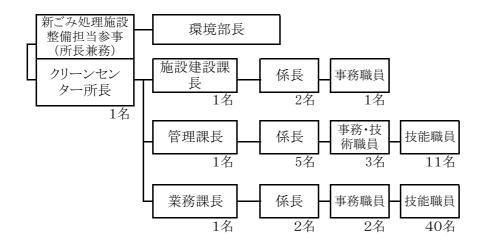
さらに、市内の植木の葉刈りごみの有効利用を図るため、平成11年度から、不燃物処分地内に緑のリサイクルセンターを開設した。

平成19年4月からはプラスチック類のごみの分別収集を開始し7種9分別から8種10分別とし、プラスチック類のごみの収集を週1回実施することに伴い、燃やすごみの収集を週3回から2回に変更し、祝日(土・日、年末・年始を除く)の収集も実施している。一方、平成7年に今後のごみ減量施策の基本となる「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」を策定。適宜改定を重ね、現在に至っている。

平成23年9月から、ごみ出しの困難な高齢者・障がい者でひとり暮らしの人を対象に、家庭系ごみ収集を開始。平成24年10月には「宝塚市廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例」を改また、現ごみ処理施設の老朽化に伴い、新ごみ処理施設の整備に向け検討を進め、現有地内に整備することとし、平成31年2月に「宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画」を策定した。

5 クリーンセンター組織図

令和2年4月1日現在



6 各課担当事務・電話番号

施設建設課(クリーンセンター管理棟1階) 0797-84-6363(直通)

- ・新ごみ処理施設建設に関すること。
- ・新ごみ処理施設建設に係る審議会に関すること。
- ・課の庶務に関すること。

管理課(クリーンセンター管理棟1階) 0797-87-4844(直通)

- ・一般廃棄物の処理に係る企画、調査及び研究に関すること。
- ・一般廃棄物の処理計画に関すること。
- ・一般廃棄物の発生の抑制に関すること。
- ・一般廃棄物の資源化及び減量化に関すること。
- ・宝塚市廃棄物減量等推進審議会に関すること。
- ・一般廃棄物の中間処理及び最終処分に関すること。
- ・一般廃棄物(し尿を除く。)の年間搬入許可に関すること。
- ・一般廃棄物処理手数料(他課の所管に属するものを除く。)に関すること。
- ・一般廃棄物処理業(し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。)及び浄化槽清掃業の許可に関すること。
- ・し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業者並びに浄化槽清掃業者の指導監督に関すること。
- ・浄化槽設置届出の受理及び浄化槽維持管理台帳の整備に関すること。
- ・浄化槽設備の保守点検に係る指導又は勧告に関すること(他課の所管に属するものを除く。)。
- ・クリーンセンター及び緑のリサイクルセンターの維持管理に関すること(他課の所管に属するものを除く。)。
- •クリーンセンターのプラント設備の工事の設計、積算、施工及び監理に関すること。
- ・不燃物埋立処分地の維持管理に関すること。
- ・クリーンセンター周辺地区及び不燃物埋立処分地下流都市等との連絡調整に関すること。
- ・し尿の収集に関すること。
- ・宝塚都市環境サービス株式会社との連絡調整に関すること。
- ・宝塚市立公衆便所に関すること。
- ・課の庶務に関すること。

業務課(クリーンセンター管理棟1階) 0797-87-7883(直通)

- ・一般廃棄物(し尿及び浄化槽汚泥を除く。以下同じ。)の収集及び運搬事業に関すること。
- ・一般廃棄物処理業(し尿及び浄化槽汚泥に係るものを除く。)の許可に関すること。
- ・一般廃棄物のごみステーションに関すること。
- 一般廃棄物の収集運搬委託業者の指導監督に関すること。
- ・一般廃棄物処理業(し尿及び浄化槽汚泥に係るものを除く。)の指導調整に関すること。
- ・清掃事業に係る車両の安全管理に関すること。
- ・武庫川河川敷進入路に関すること。
- ・整備棟、車庫及び洗車場の維持管理に関すること。
- ・一般廃棄物処理手数料(市が収集し、運搬し、及び処分する粗大ごみ等に係るものに限る。)に関すること。
- ・課の庶務に関すること。

7 クリーンセンターの変遷

年度	施 設 強 備 の 状 況
S13	小浜村に固定炉10t/日 1基建設完成。
S29	4月1日 市制施行。
S40	4月 コンポストプラント (塵芥高速堆肥化処理装置) 50t/日 1基完成。
S41	4月 場内埋立地に埋立開始。
S42	2月 固定炉15t/日に増設。
S44	3月 し尿処理施設 150KL/日完成。
S45	11月 焼却炉90t/24H 2基完成。 12月稼動。
S47	3月 し尿処理施設45KL/日増設、大型ごみ破砕機50t/5H 1基完成。西谷地域に不燃物処理 場建設に着手。
S49	湿式集塵装置設置、切畑不燃物埋立処分地完工。
S51	切畑不燃物埋立処分地汚水処理装置改良。
S52	し尿排ガス脱硫装置設置。
S53	電気集塵装置設置、資源選別機設置。
S58	切畑不燃物埋立処分地休止。
S60	10月新焼却施設の建設に着手。 鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造り、地下2階、地上5階建て
S61	5月 固定炉15t/日 廃止。
S62	3月 旧焼却炉90t/日 2基廃止。
S63	4月 新焼却炉160t/日2基稼働 7月 廃プラスチック類混焼開始、 10月 新焼却施設竣工。 3月 粗大ごみ処理施設50t/5H廃止。
Н 1	10月 し尿処理施設 195KL/日廃止。 3月 し尿処理施設140KL/日完成。 粗大ごみ処理施設 70t/5H完成。 管理棟完成。 有価物選別機 30t/7H 廃止。
H10	9月 焼却炉排ガス高度処理施設整備工事着手。3月ペットボトル処理施設完成。
H11	4月 緑のリサイクルセンター設置。
H12	10月 焼却炉排ガス高度処理施設整備工事竣工。
H14	3月 し尿処理方式を固液分離希釈放流方式に改造。
H18	3月 プラスチック類ストックヤード完成。
H24	10月 焼却炉基幹的設備改良工事着手。
H27	3月 焼却炉基幹的設備改良工事竣工。

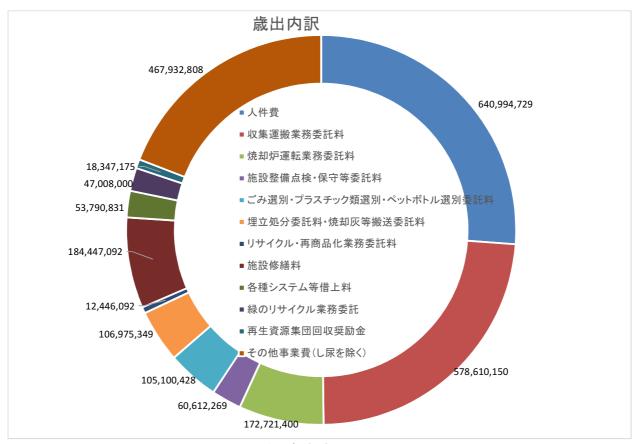
年度	主 な 取 組
S29	4月1日 市制施行。 衛生課設置 9月「宝塚市清掃条例」制定。 1月希望世帯に限り有料で収集開始。
S37	希望世帯に週1回の定期収集開始。 9月条例改正。家庭ごみと営業上のごみを区別して収集 (委託業者:宝塚衛生)
S41	12月条例改正 家庭ごみを4月に遡って無料とする。臨時ごみは有料。
S44	4月1日「宝塚市清掃センター設置管理条例」施行、「宝塚市胞衣などの汚物の処理に関する条例」施行。 可燃ごみと不燃ごみの分別収集開始。
S45	家庭ごみの収集委託業者として㈱東洋工業所が加わる。
S46	12月「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」施行。 1月「宝塚市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」施行。
S47	4月 市南部を特別清掃地域と定めていたのを1集落50戸以上あれば収集区域とし、事業対象を全市に拡大した。(南部地域は可燃ごみ3回/週、不燃ごみ1回/週。 西谷地域は不燃ごみのみ1回/月)
S52	10月資源ごみを含めた分別収集処理開始(可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ)。 県主体の阪神事業公社設立され尼崎沖に埋め立て施設が建設、9月から共用開始。
S53	「資源ごみ」から有価物を選別するための資源選別機を導入して、リサイクル体制の一歩を踏み出した。 11月 切畑不燃物埋処理場埋め立て開始。
S54	8月 西谷地区ごみ収集を業務委託(委託業者:西谷環境)
S57	近畿2府4県195市町村が参加する大阪湾広域臨海環境整備センター設立、「大阪湾フェニックス計画」として具現化される。
S63	新焼却炉の本格稼動。7月から、ビニール・プラスチック類を可燃ごみとした分別収集を開始。資源ごみ1回/週。 市民から「ダイオキシン問題」として提訴される。
Н 3	6月 再生資源集団回収奨励金制度開始。
Н 6	1月 阪神·淡路大震災 阪神·淡路大震災災害廃棄物処理事業着手。
Н 7	4月1日「宝塚市廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例」施行、「宝塚市空き缶等の散 乱防止及びその資源化の促進に関する条例」施行。 10月 3種4分別から6種9分別収集に変更。 「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」策定。
Н 8	3月 阪神·淡路大震災災害廃棄物処理事業完了。
H11	4月 ペットボトルの分別収集開始により7種10分別収集に。緑のリサイクル事業開始。
H12	「ダイオキシン問題」和解。9月条例改正(家庭系粗大ごみを有料化)。 家庭系ごみ収集運搬委託業者に、宝塚アーバンサービス㈱が加わる。
H13	4月 家庭系粗大ごみの収集・処理を有料化し、予約申し込みの戸別収集に変更(7種・9分別)。 「特定家庭用機器再商品化法」(家電リサイクル法)が全面施行。
H14	「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」を改定。
H15	10月 家庭系パソコンの回収方法の変更(資源有効利用促進法に基づく)※パソコンメーカー等による回収・リサイクルが開始。
H16	「有償指定袋制度の導入による家庭系ごみ収集・処理の有料化について」答申を得る。
H19	4月 プラスチック類の分別収集開始(8種・10分別)。家庭系ごみ収集運搬業者に制ナカザワ、 (制北摂クリーンサービスが加わる。
	2月「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」を改定。
	2月「玉琢巾一般廃業物処理基本計画」を以正。

年度	主 な 取 組
H21	12月「プラスチック類の分別・処理のあり方について」答申を受ける。
ПДТ	4月 家庭系ごみ収集運搬業者に、都市クリエイト㈱が加わる。
	4月 「レジ袋の削減等に関する協定書」を締結。
	8月 「資源ごみ持ち去り行為への対策について」答申を得る。
H23	9月 ごみ出しの困難な高齢者・障がい者でひとり暮らしの人を対象に、家庭系ごみ収集を開始。
	11月 家庭の剪定枝ごみの収集を開始。
	4月 きずな収集対象者に粗大ごみの持ち出しサービスを開始。
H24	10月「宝塚市廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例」を改正(資源ごみ持ち
П24	去り禁止を条例化)
	3月 「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」を改定。
H25	4月 家庭系収集運搬委託業者に一般競争入札を採用し、泉興業(株)、(有)プランドゥー、(株)ダイシンが加わる。一部地域で、宝塚市エコリサイクル事業協同組合が家庭系紙・布の収集を開始。
	11月 新ごみ処理施設整備基本構想検討委員会を設置。
H26	7月 小型家電リサイクルの実証事業を開始。
	4月 粗大ごみ受付をコールセンターに変更。
	6月 ガラス残渣リサイクル業務を開始。
H27	11月 「宝塚市新ごみ処理施設整備基本構想」を策定。
	12月 焼却灰から基準の6倍の鉛が検出されたため、大阪湾広域臨海環境整備センターから 搬入停止措置を受ける(1月 搬入停止解除となる)。
H28	1月 新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会を設置。
1120	3月 「宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画原案について」答申を受ける。
	4月 「宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画原案」を策定。
H29	2月 「宝塚市新ごみ処理施設整備基本計画」を策定。
	3月 「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」を改定。
H31	1月 「宝塚市災害廃棄物処理計画」を策定。

Ⅱ財政

- 1 ごみ処理事業
- (1) 令和元年度歳出決算

単位:円



※市一般会計 79,761,567 千円の 3.07%

(2) 令和元年度歳入決算 事業収入内訳 24,751,139 47,505,690

5,952,868

■家庭系粗大ごみ処理手数料

事業系ごみ処理手数料
 植木ごみ処理手数料
 古紙等有価物売却収入
 再商品化合理化拠出金
 その他諸収入

※市一般会計 74,476,231 千円の 0.38%

2 し尿処理事業

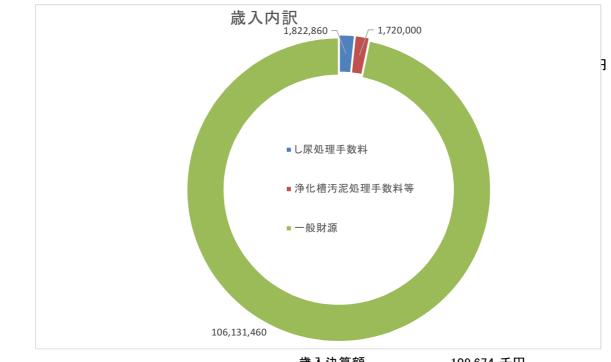
(1) 令和元年度歳出決算

単位:円



(2)令和元年度歳入決算

単位:円



歳入決算額 ※市一般会計 109,674 千円 74,476,232 千円の 0.15%

3 ごみ・し尿処理原価

(1) ごみ処理原価

年度	H27	H28	H29	H30	H31	
人口(人)	224,653	225,010	224,997	224,728	224,434	
収集原価	1,079,293,050	1,078,759,849	1,079,872,377	1,081,253,242	1,088,947,709	
収集量(t)	46,705	45,744	45,138	45,431	45,811	
1t当たり	23,109	23,583	23,924	23,800	23,770	
市民1人当たり(月)	400	400	400	401	404	
処理原価	835,330,450	948,907,217	953,351,944	986,681,620	1,027,005,852	
処理量(t)	72,701	70,971	71,161	72,478	72,521	
1t当たり	11,490	13,370	13,397	13,614	14,161	
市民1人当たり(月)	310	351	353	366	381	
総原価	1,914,623,500	2,027,667,066	2,033,224,321	2,067,934,862	2,115,953,561	
処理量(t)	72,701	70,971	71,161	72,478	72,521	
1t当たり	26,336	28,570	28,572	28,532	29,177	
市民1人当たり(月)	710	751	753	767	786	
市民1人当たり(年)	8,523	9,011	9,037	9,202	9,428	

[※] 原価は決算額と違い減価償却費を考慮に入れて計算している。

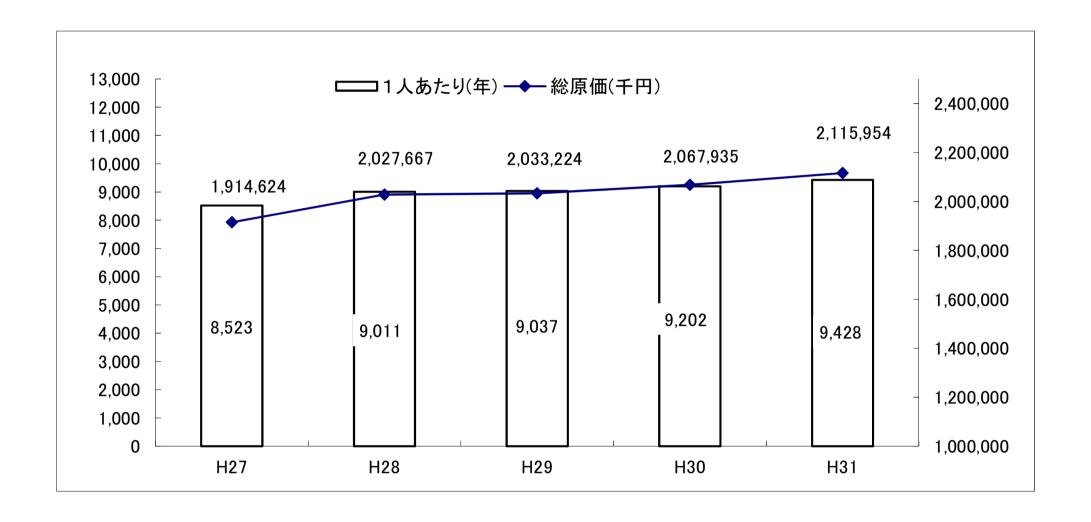
[※] 人口は各年度末翌日(4/1)の推計人口。

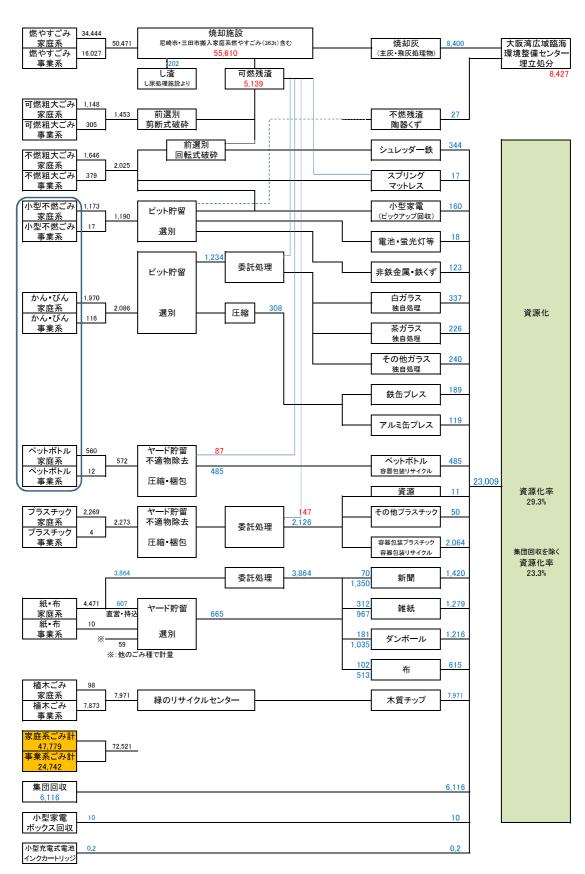


(2) し尿処理原価

	年度	H27	H28	H29	H30	H31
対象は	世帯・事業所数(件	1,362	1,371	1,216	1,189	1,170
収集	原価	38,730,310	38,378,593	40,565,549	39,314,419	41,105,597
	収集量(t)	3,671	3,418	3,320	3,430	3,870
	1kl当たり	10,550	11,228	12,219	11,462	10,622
	対象1人当たり(月)	2,370	2,333	2,780	2,755	2,928
処理		41,223,198	58,637,656	46,013,144	42,681,535	44,520,125
	処理量(t)	3,671	3,418	3,320	3,430	3,870
	1kl当たり	11,229	17,156	13,859	12,444	11,504
	対象1人当たり(月)	2,522	3,564	3,153	2,991	3,171
総原	価	79,953,508	97,016,249	86,578,693	81,995,954	85,625,722
	処理量(t)	3,671	3,418	3,320	3,430	3,870
	1kl当たり	21,780	28,384	26,078	23,906	22,126
	対象1件当たり(月)	4,892	5,897	5,933	5,747	6,099
	対象1件当たり(年)	58,703	70,763	71,200	68,962	73,184







Ⅲ 施設・設備・機材

1 管理事務所等

区分	宝塚市クリーンセンター管理棟
所在地	宝塚市小浜1丁目2番15号
延床面積	1, 496. 68 m²
竣工年月	平成元年3月
構造	鉄筋コンクリート造3階建
建設費	372,000千円
	1階 所長室、応接室、事務室、更衣室
概要	2階 会議室、控室、更衣室、浴室、洗濯・乾燥室
	3階 会議室、食堂·休養室、体育室、書庫

	車庫棟 鉄骨造 979.43㎡(延面積)
車庫等	車両整備棟 鉄骨造 174.58㎡(延面積)
	洗車棟 鉄骨造 390.00㎡(延面積)

2 車両

(平成31年4月1日現在)

(1) ごみ収集関係車両

車種別	台数	用途
機械式収集車	14台	収集•運搬用
ダンプ車等	16台	収集•運搬用
その他	2台	事務連絡用
合計	32台	

(2) ごみ処理・ し尿関係車両

車種別	台数	用途
ダンプ車	1台	ごみ処理作業用
し渣車	1台	場内作業用
その他特殊車両	6台	ごみ・資源物運搬用
その他	3台	巡回指導用 連絡用
合計	11台	

3 処理施設

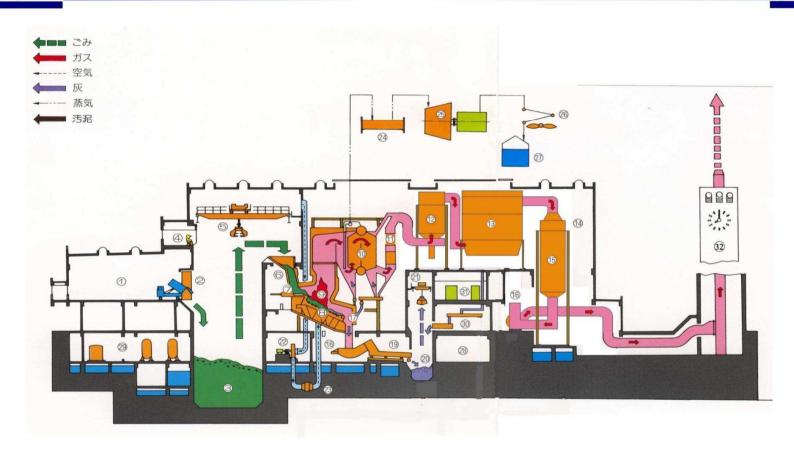
(1) ごみ焼却処理施設

		全連続燃焼式焼却炉		
	所在地	宝塚市小浜1丁目2番15号		
	延床面積	8,679.84 m²		
	着工年月	昭和60年8月		
	完成年月	昭和63年10月		
	処理能力	320t/24H(160t/24H×2基)		
	建設費	6,029,600千円		
	建家	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上5階、地下2階		
	受入設備	ごみ計量機200kg~30t(10kg単位)	2基	
	供給設備	ピットアンドクレーン方式		
		ごみピット	4, 140m3	
		ごみクレーン(油圧バケット付天井走行5m3)	2基	
	燃焼設備	・フィーダ(往復動式)	2基	
		・ストーカ(逆走式2ラン×11段)	2基	
		火格子面積23.67㎡×2本=47.24㎡		
	燃焼ガス冷却設備	ボイラ方式		
		単路式二胴自然循環形	2基	
		最大蒸気量20.34t/H		
	余熱利用設備	蒸気式タービン		
施		横単段衝動背圧式単流排気	1基	
設		出力925kw		
概	排ガス処理設備	・ハイブリッドバグフィルター(入口排ガス温度200℃)	2基	
要		•触媒脱硝装置(固定床低温活性形、白煙防止装置付)	2基	
		•飛灰処理装置(薬剤添加湿処理方式)	2系列	
	通風設備	•平衡通風方式		
		押込通風機	2基	
		誘引通風機	2基	
		・煙突 鉄筋コンクリート造(内筒鋼板製2筒)	1筒	
		高さ59.5m、口径1.22m		
	灰出し設備	·灰押出装置(往復動式)	2基	
		・ピットアンドクレーン方式		
		灰ピット	$100\mathrm{m}^2$	
		灰クレーン(バスケット付天井走行1m3)	1基	
	排水設備	・ごみ汚水炉内噴霧装置	2系列	
		•排水処理装置		
		凝集沈でん+砂ろ過+重金属除去	2基	
設計施工 三菱重工業㈱				
	備考	平成12年10月 焼却炉排ガス高度処理施設整備工事完	三二	

焼却炉の稼動状況

令和元年度実績

稼働日数	稼働時間	タービン発電	受電電力量	都市ガス	水道使用量
(日)	(2炉、延べ時間)	電力量(KWH)	(KWH)	使用量(m³)	(m^3)
355	9,384	7,664,000	638,667	23,623	18,096



①プラットホーム	⑥ホッパ ・・・・2基	⑪節炭器 ・・・・2基	⑩誘引送風機 ・2基	② 灰クレーン ・・・ 1基	26 復水器	31) 電気室
②ごみ投入扉 ・・・・5門	⑦フィーダ ・・・2基	⑫減温塔 ・・・・2基	⑪クリンカローラ ・・・2基	22 押込送風機 ・・・2基	27 復水タンク	32 煙突
③ごみピット ・・・4,140m3	⑧火格子 ・・・2基	⑬パグフィルタ ・2基	⑱灰押出装置・・2基	②3 蒸気式空気予熱器 ・2基	28 蓄熱槽	
④ごみクレーン操作室	⑨焼却炉本体 ・・2基	⑭蒸気式ガス過熱器 2基	⑲振動コンベア ・2基	24 蒸気溜 ・・・・2基	29 排水処理設備	
⑤ごみクレーン ・・・2基	⑩ボイラ ・・・2基	(f) 脱硝反応塔 · · · 2基	②灰ピット ・・100m3	② 蒸気タービン・・・1基	30 飛灰処理装置	

(2) 粗大ごみ処理施設

		回転式・剪断式破砕機及び選別機		
武大·孙				
所在地		宝塚市小浜1丁目2番15号		
延床面積		3,717.55m²		
	着工年月	昭和63年7月		
	完成年月	平成2年3月		
	処理能力	機械選別 50t		
)C-111079	手選 別 20t 計70t/5h		
	建設費	1,833,000千円		
	建家	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階		
		貯留ピット(鉄筋コンクリート)	2槽	
	受入供給設備	ごみクレーン(クラブバスケット付 天井走行クレーン)	1基	
		供給コンベア(スチールスラットコンベア)	2基	
		ダンピングボックス(油圧転倒式)	1基	
	破砕圧縮設備	回転式破砕機(三菱-シュレッダS1515形)	1基	
l., l		剪断式破砕機(三菱-プレスシャP3518形)	1基	
施設	排出設備	振動コンベア(フローティングトラフ形)	1基	
概要		排出コンベア(スチールスラット ベルトコンベア)	1式	
	選別設備	手選別コンベア(ベルトコンベア)	1基	
		磁力選別機(クロスベルト角形電磁)	2基	
		不燃物、可燃物等分離装置(バランストラフ形)	1基	
	搬出設備	貯留ホッパ(鋼板製ゲート式)	1式	
		集じん設備(サイクロン+バグフィルタ式)	1式	
	二次公害防止設備	脱臭設備(活性炭吸着塔)	1式	
		排水設備(接触酸化法)	1式	
		防音・防振設備(消音器、基礎分離)	1式	
	設計施工	三菱重工業㈱		

(3) プラスチック類ストックヤード

	所在地	宝塚市小浜1丁目2番15号
	延床面積	1, 146. 31 m²
施設	着工年月	平成18年9月
概要	完成年月	平成19年3月
	建家	鉄骨造 平屋建
	建設費	96, 915千円

火八八叫以 师	
①貯留ピット	2槽
②供給クレーン	·1基
③供給コンベア	·2基
④ダンピングボックス	1基

马 λ 世 終 設 借

18

⑤回転式破砕機	·1基
⑥剪断式破砕機	·1基
排出設備	
⑦振動コンベア	1基
⑧排出コンベア	1式

破砕圧縮設備

選別設備	
⑨手選別コンベア	…1基
⑩磁力選別機	・2基
①不燃物・可燃物分離装置	…1基
搬出設備	
②貯留ホッパ	1式

二次公害防止装置
③集じん設備 1 元
④脱臭設備1 式
⑤排水設備11
(f) 防音·防振設備······· 1式

(4) ペットボトル処理施設

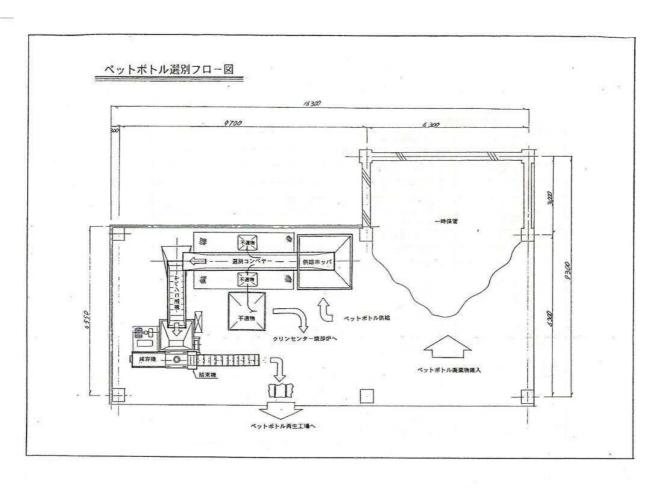
所在地		宝塚市小浜1丁目2番15号	
事	業開始	平成11年4月	
	建家	鉄骨造 平屋建	
44	建物	選別施設床面積 126.63㎡	
施設		ストックヤード床面積 300㎡	
概要		手選別施設 一式	
女	設備	減容機(三広工業㈱400kg/h) 1基	
		型式 油圧一方向縦押型自動結束式	

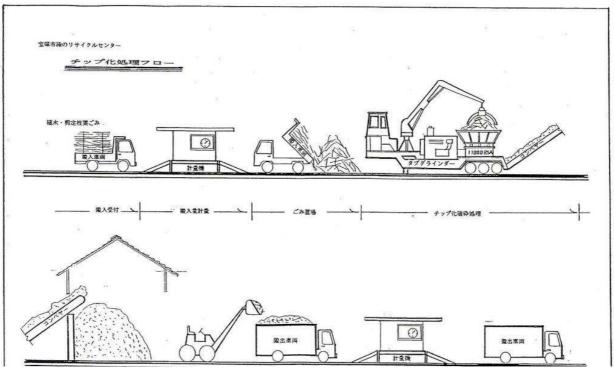
(5) 緑のリサイクルセンター

位置		宝塚市切畑字長尾山19番25(不燃物埋立処分地内)			
処理対象		市内で発生した植木・剪定枝葉等			
処	理能力	25t/日			
	面積	8,400㎡[進入路を含む。]			
事	業開始	平成11年4月			
		計 量 棟 19.44㎡			
	建物	管 理 棟 16.20㎡			
		チップストックヤード床面積 150㎡(最大保管量350m3)			
		受入設備 ごみ置場面積 150㎡			
施		計 量 機 秤量 40t			
設概		破 砕 機(受託者持込み)			
要		1 型 式 モバーク社製タブグラインダー(モデルS1000)			
	設備	2 スクリーン目 1インチ			
		3 動 力 エンジン455馬力			
		4 台 数 1台			
		その他 電気・給排水・消火設備一式			

(6) 埋立処分地

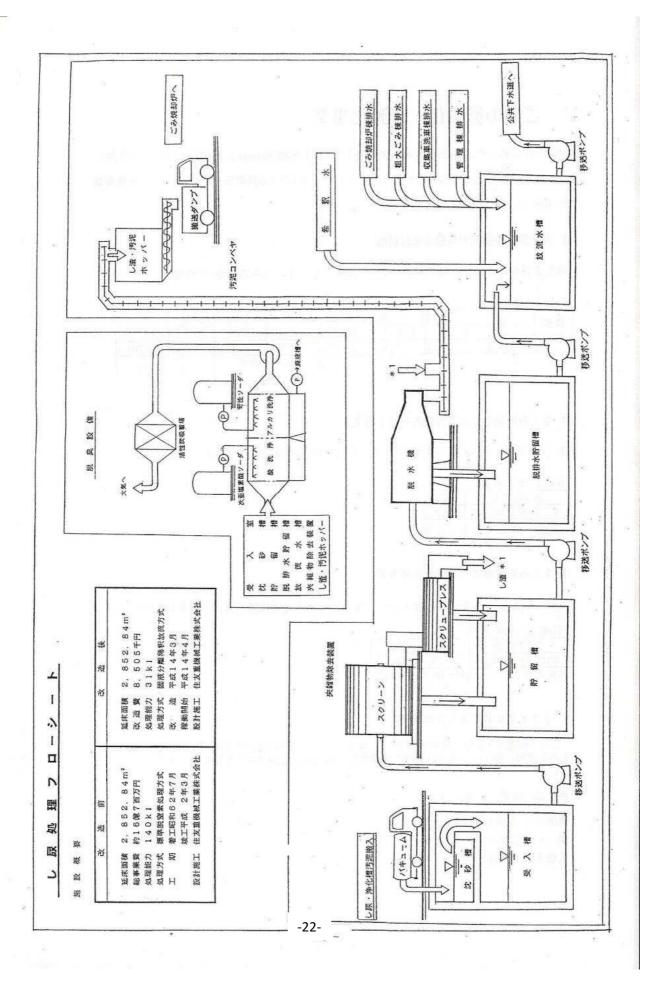
位置	宝塚市切畑字長尾山19番25	
規模	面 積 87,545㎡	
	容 積 88,275㎡	
事業開始	昭和50年10月	
備考	平成8年度より埋立休止中	





(7) し尿処理施設

処理方式		固液分離希釈放流方式
所在地		宝塚市小浜1丁目2番15号
延床面積		2,852.84 m²
着工年月		昭和62年7月
	完成年月	平成2年3月(平成14年3月改造)
	処理能力	31kl/日
	建設費	1,544,000千円
	建家	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階
	処理対象人口	8,900人
施	希釈水の種類	地下水
設概	放流先	武庫川流域下水道
要	脱臭装置	酸・アルカリ・次亜洗浄、活性炭吸着処理
	し渣・汚泥等	脱水・焼却(ごみ焼却炉で焼却)
	の処分方法	
		破砕機、前処理装置
その他		ロータリードラムスクリーン及びスクリュープレス
		脱水機
設計施工		住友重機械工業㈱



Ⅳ ごみ処理事業

ごみの年間総排出量は78,647tと前年度比0.4%の減、また、市民1人1日当たりのごみ量は885gと前年度比0.2%減となっている。家庭系燃やすごみの排出量は市民1人1日当たり420gと年々減少傾向にあったものが増加に転じた。一方、事業系燃やすごみについては195.6gと年々増加傾向にあったものが微減に転じた。

排出形態別でみた場合、収集ごみは前年度比0.8%増加。許可業者ごみは同1.4%増、一般持ち込みごみは同2.1%減であった。また、集団回収については年々減となり、前年度比約5%減であった。

種類別でみても、不燃粗大ごみ(前年度11.9%増)の増加率が高く、次いで小型不燃ごみ(前年度比2.2%増)、ペットボトルが(同0.4%増)、燃やすごみ(前年度比0.3%増)、プラスチック(同0.1%増)で、一方、減少したのは可燃粗大ごみ(同4.2%減)、植木ごみが(同3.8%減)、紙・布ごみ(同1.8%減)、かん・びん(同1.6%減)(同0.1%減)であった。

1 収集

本市は、全市域を処理計画区域と定め、事業系ごみ等を除く全てを市で収集、運搬している。 その内ステーション排出ごみは、世帯数の19%相当を市直営で、残り81%を委託業者で収集し、 粗大ごみも申込みによる市直営で戸別有料収集し、動物の死体等は申込みにより委託業者で収集 している。

家庭系ごみの収集は平成19年4月からプラスチック類の分別収集を開始することにより7種9分別から「燃やすごみ」「プラスチック類」「かん・びん」「紙(新聞・ダンボール・雑紙等)」「布」「ペットボトル」「小型不燃ごみ」「粗大ごみ」の8種10分別とし、プラスチックの収集を週1回、燃やすごみの収集を週2回とし、祝日(土、日、年末・年始を除く)の収集も実施している。 なお、「紙(新聞・ダンボール・雑紙等)」「布」については平成25年度より一部地域で、宝塚市エコリサイクル事業協同組合が家庭系紙・布の収集を実施している。

(1) 収集形態

(令和2年4月1日現在)

ごみの分類	収集回数	持ち出し場所
燃やすごみ	週2回	ごみステーション
プラスチック類	週1回	ごみステーション
かん・びん	月2回	ごみステーション
紙(新聞・ダンボール・雑紙等)・布	月2回	ごみステーション
ペットボトル	月2回	ごみステーション
小型不燃ごみ	月2回	ごみステーション
粗大ごみ	随時(申込み)	各 戸
動物の死体	随時(申込み)	各戸及びその他
胞 衣	随時(申込み)	医院•助産院

(2) 収集世帯·委託業者

(令和2年4月1日現在)

地拉豆八	无	処理世帯	数
地域区分	委託業者	世帯数	比率(%)
直営地域		20,135	19.5
委託地域	宝塚衛生㈱ ㈱東洋工業所 侚西谷環境 泉興業㈱ サンタ―商事㈱ (㈱ダイシン	83,183	80.5
未収集世帯		1,909	_
計		105,227	100.0

(3) 一般廃棄物収集運搬許可業者

(令和2年4月1日現在)

名 称	電話番号	許可種類
海田工業㈱	72-9660	
㈱クリーンボーイ	0798-52-9811	
サンター商事㈱	85-3251	
白瀬浚渫興業㈱	84-1203	家庭系・事業系一般廃棄物(し尿・
㈱都市クリエイトサービス	81-6087	し尿浄化槽汚泥・し尿を含むビル ピット汚泥及びディスポーザー汚泥
(有)ナカザワ	73-4441	
有プランドゥー	74-1199	
(有)北摂クリーンサービス	74-8833	
㈱エバークリーン	80-7875	

2 ごみ総量及び処理状況

単位:(t)

年	ごみ総						集団回収	資源化
度	上の心量	搬入量	焼却		埋立	資源回収	果凹凹収 量	具体に率
	-			燒却灰			Ĥ	'
H27	80,358	72,701	55,044		44	17,613	7,649	31.44%
			75.71%		0.06%	24.23%		
				8,058				
H28	76,425	70,971	55,346		47	16,312	5,448	28.47%
			77.98%		0.07%	22.98%		
				8,422				
H29	77,963	71,160	55,308		39	16,401	6,797	29.76%
			77.72%		0.05%	23.05%		
				8,092				
H30	78,947	72,478	55,178		71	17,230	6,461	30.01%
			76.13%		0.10%	23.77%		
				8,725				
R1	78,645	72,521	55,610		27	16,904	6,116	29.27%
			76.68%		0.04%	23.31%		
				8,400				

[※]ごみ総量は搬入量+集団回収量

[※]埋立量は「焼却灰」+「埋立」

[※]資源化率は「資源回収」+「集団回収量」のごみ総量に占める割合

3 ごみ**受入状況** 単位:(t)

家庭系ごみ					- 1	、茶など、	7,		宇江へい	
区分		计而计	工集分 X集分	直接			業系ご 直接	ブ		月
	73	市直営	季五 季託業者	搬入	計	許可業者	搬入	計	合計	平均
	H27	6,637	安託来有 28,913		35,568	14,811	377	15,188	50,756	4,230
	H28	6,659	28,458	18 21	35,138	14,724	447	15,172	50,730	4,230
燃やす	H29	6,601	28,125	25	34,751	14,724	702	15,638	50,310	4,192
ごみ	H30	6,594	26,125 $27,497$	18	34,109	15,414	665	16,080	50,389	4,199
	R1	6,617	27,497	17	34,109	15,414	547	16,030	50,189	4,206
	H27	382	0	948	1,330	222	168		1,720	
可燃	H28	423	0	884	1,307	251	213	390 463	1,720	143
粗大	H29	439	0	696	1,135	221	187	403	1,543	148 129
ごみ	H30	494	0	640	1,134	216	167	383	1,543	126
_ ° /	R1	575	0	574	1,148	174	131	305	1,454	121
	H27	211	887	3	1,101	11	11	22	1,123	93
小型	H28	214	835	3	1,052	11	8	19	1,071	88
不燃	H29	195	844	2	1,041	10	3	13	1,054	87
ごみ	H30	223	928	2	1,153	11	1	12	1,164	97
_ /	R1	231	941	1	1,173	14	3	17	1,190	99
	H27	286	0	727	1,013	136	126	262	1,275	106
不燃	H28	276	0	862	1,137	131	149	279	1,417	118
粗大	H29	280	0	1074	1,354	130	200	331	1,685	140
ごみ	H30	306	0	1125	1,431	142	229	371	1,802	150
	R1	374	0	1272	1,646	109	269	379	2,025	169
	H27	582	3,769	37	4,388	0	19	19	4,407	367
	H28	539	3,413	28	3,980	0	16	16	3,996	333
紙•布	H29	524	3,295	27	3,845	0	19	19	3,864	322
	H30	585	3,955	13	4,553	0	10	10	4,563	380
	R1	594	3,864	13	4,471	0	10	10	4,481	373
	H27	425	1,758	0	2,183	141	3	143	2,326	194
かん・	H28	417	1,722	0	2,140	113	1	115	2,254	188
びん	H29	398	1,701	0	2,099	89	1	90	2,189	182
070	H30	389	1,634	0	2,023	97	1	98	2,121	177
	R1	373	1,596	0	1,970	115	1	116	2,086	174
	H27	102	415	0	517	13	0	13	530	44
ペット	H28	103	427	0	530	12	0	12	542	45
ボトル	H29	102	433	0	535	12	0	12	547	46
	H30	107	450	0	557	13	0	13	570	47
	R1	106	455	0	560		0	12	572	48
	H27	482	1,850	0	2,332	4	0	4	2,336	195
	H28	463	1,791	0	2,254		1	3	2,256	188
プラスチック	H29	445	1,746	0	2,192		0	4	2,195	183
	H30	448	1,818	0	2,266		1	5	2,271	189
	R1	444	1,825	0	2,269		0	4	2,273	189
	H27	5	0	80	85		8,143	8,143	8,228	686
植木	H28	4	0	91	94	0	7,262	7,262	7,356	613
ごみ	H29	10	0	94	104	0	7,590	7,590	7,694	641
	H30	4	0	94	98		8,183	8,184	8,282	690
	R1	6	0	92	98		7,873	7,873	7,971	664
	H27	9,112	37,592	1,814	48,518		8,846	24,183	72,701	6,057
\ \ \	H28	9,098	36,646	1,889	47,632	15,244	8,096	23,340	70,972	5,913
合計	H29	8,994	36,143	1,919	47,056		8,701	24,104	71,160	5,929
	H30	9,150	36,282	1,892	47,323		9,029	25,156	72,479	6,040
	R1	9,319	36,492	1,969	47,779	15,907	8,835	24,742	72,521	6,043

※植木ごみは緑のリサイクルセンター受入分。また、合計値については集計上、四捨五入により 一致しない場合がある。

4 植木ごみ受入及び処理状況

単位:(t)

		搬入量					
年度	葉刈り	植木大	合 計	資源化量			
H27	8,128	100	8,228	8,228			
H28	7,310	46	7,356	7,356			
H29	7,627	66	7,694	7,694			
H30	8,203	79	8,282	8,282			
R1	7,907	63	7,971	7,971			

5 動物の死体等の受入状況

単位·(件)

			+14.(1丁/
		平成30年度	令和1年度
有	収集	149	149
料	持込	757	479
無	収集	708	708
料	持込	206	200
	合計	1,820	1,536

※無料分は、野良、野生等飼育者のいない動物及び路上の死体等飼育者の不明の動

6 令和元年度回収有価物売却額

	びん	鉄缶	鉄シュ	非鉄	アルミ	ž	紙	類	布類	ペット	計
	(カレッ ト)		レッター	跃居	缶	新聞	段ボール	雑 紙		ホトル	
回収量(t)	803	188.51	383.9	112	119.3	1420	1,216	1,279	614.58	485	6,622
金額(千円)	0	4,342	2,087	0	15,486	1,249	2,054	2,076	574	0	27,867

Ⅴ ごみの減量化・資源化推進事業

宝塚市では発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再資源化(Recycle)の3Rをもとに、ごみをできるだけ減らし、リサイクルをする循環型社会を目指して、各種事業に取り組んでいる。

1 再生資源集団回収奨励金交付事業

再生資源を集団回収している団体に対して奨励金を交付し、ごみの減量化・資源化を図った。

実施団体数 363 団体

回収量 6,115,730 kg 奨励金交付額 18,347,175 円

(注) 奨励金 3円/kg

2 粗大ごみリサイクル品展示・販売フェアの開催

社会福祉法人宝塚さざんか福祉会に事業委託している粗大ごみリサイクル事業で、粗大ごみを 修理再生したリサイクル品の展示・販売及び植木チップの無料配布を法人と共催で実施した。

開催日 6月1日(土)

場 所 宝塚市クリーンセンター

参加者 約200名

開催日 10月26日(土)

場 所 宝塚市クリーンセンター

参加者 約200名

3 環境啓発ポスター募集事業

環境啓発の一環として、ごみ減量化・資源化をテーマにした絵画を市内小中学校の児童・生徒から募集し、優秀作品を表彰するとともに、公共施設等で展示した。また、最優秀作品はごみ収集車両に掲示するなどごみ減量・資源化の啓発に使用した。

4 施設見学の実施

クリーンセンター施設見学の希望があった団体・個人などを対象に、39件、2,612名を案内した。 また、市民参加を得て実施する施設見学指導員制度において、施設見学案内・説明者として1 2名を名簿に登録し、案内業務を実施した。

Ⅵ し尿処理事業

1 あらまし

本市のし尿処理は、昭和35年4月まで伊孑志、武庫川、小林、東蔵人の4地区を対象とし て、し尿貯留槽を設けるとともに、市内農家の貯留槽も併せて使用し農家還元をしていた が、農家の利用が減少した昭和35年5月からは貯留槽を中継所として衛生的処理へ移行し た。

昭和35年にし尿処理場の建設を計画し、昭和42年11月位置決定、昭和43年1月着工、昭和 44年3月完工し、同年7月から試験操業に入り、10月から本格操業を開始した。

その後、急激な人口の増加と浄化槽汚泥処理が急務となったため、施設を設備改良し浄 化槽汚泥処理施設の併設を計画、昭和47年12月完工、昭和48年1月より運転、前処理施設よ り汚泥乾燥焼却に至る一連の処理施設が完工した。

又、昭和53年4月より汚泥焼却排ガス中のSО2の総量規制が実施されたため脱硫装置を 設置した。

昭和62年7月より新し尿処理施設建設に着手、平成2年3月に完成、旧施設は解体廃止し た。

その後、下水道の普及に伴い、クリーンセンターへの搬入量が減少したため、平成13年 度に固液分離希釈放流方式に変更し、平成14年3月から稼働した。

令和元年度より宝塚北SAの浄化槽汚泥を処理しているため処理量が増加している。

し尿収集及び処理状況

单位:(kl)

		十 <u>二、(KI)</u>	
年度	収集処理実績	内	訳
十段	以朱处垤天旗	くみ取りし尿	浄化槽汚泥
H19	4,191	1,193	2,998
H20	4,084	1,115	2,969
H21	3,929	1,105	2,824
H22	3,740	963	2,777
H23	3,784	984	2,800
H24	3,434	923	2,511
H25	3,694	1,096	2,598
H26	3,623	1,084	2,539
H27	3,671	1,087	2,584
H28	3,419	1,029	2,389
H29	3,320	952	2,368
H30	3,430	984	2,446
R1	3,870	804	3,066

3 一般廃棄物収集運搬許可業者 (令和2年4月1日現在)

名 称	電話番号	許可種類
宝塚都市環境サービス(株)	81-8339	し尿浄化槽汚泥、し尿を含むビルピッ
(有)福井浄水	72-6096	ト汚泥及びディスポーザー汚泥